

災害看護学

選 択

開講年次：4 年次前期

科目区分：講 義

単 位：1 単位

講義時間：15 時間

■**科目のねらい**：災害時に看護職が果たす役割、医療チームにおける他職種との連携について、災害が健康へ及ぼす影響とともに学ぶ。具体的には、災害直後・初期に発生する人々のニーズと健康問題の理解、被災者にもたらす中・長期的な身体的・心理的・社会的な影響と看護の役割について考察する。また、緊急救援活動についても考える。

- 到達目標**：①災害看護の基礎的知識を理解する。
②災害時の医療・看護活動の実際を知り、今日的課題を考察する。
③災害が人々の生活に及ぼす影響を理解する。
④災害時の看護者役割を述べることができる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎矢野 祐美子・浅井 康文・太田 晴美

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 コースオリエンテーション
災害看護の基礎：災害に関する法律・用語／災害サイクル
- 第 2 回 災害医療の基礎：定義・分類／災害医療の歴史／疫学・感染症／世界の災害
- 第 3 回 災害対応の基礎：CSCATTT／こころのケア
- 第 4 回 災害看護活動①：緊急時／災害初期の看護活動
- 第 5・6 回 災害看護活動②：要配慮者支援／避難所における看護／中長期的看護
- 第 7 回 災害看護の実際①：病院での実際／NBC災害／備え
- 第 8 回 統合学習

■**教科書**：指定無し。適宜資料を配布する。

- 参考文献**：『災害看護』／黒田裕子、酒井明子（メディカ出版）
『災害看護』／酒井明子、菊池志津子編（南江堂）
『災害看護学・国際看護学』／日本赤十字社事業局看護部編（医学書院）

■**成績評価基準と方法**：課題50% レポート50%
出席が授業時間の2/3に満たない場合、成績評価の対象とはならない。

評価方法	到達目標				評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③	到達目標④		
課題	◎	○	◎	○		50
レポート	○	◎	○	◎	内容の適切性・論理性・創造性	50
出席					2/3以上の出席	

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：既修の専門科目はすべて関連があります。

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：実際の災害医療・看護実践場面の画像を見ることに不安がある学生は、事前に申出てください。国内外の災害発生状況等により、授業スケジュールを変更する場合があります。災害はいつ、どこで起こるかかわからないだけに日頃の備えが大切です。主体的に学修に取り組んでください。